第４３回　葛城市地域公共交通活性化協議会　議事要旨

開催日時　令和８年１０月２０日（火）１０時００分
開催場所　葛城市役所新庄庁舎２階２０４会議室
出席人数　２０名（委員２４名中）
欠 席 者　西日本旅客鉄道株式会社　近畿統括本部　阪奈支社
地域共生室長　杉田　精教委員
奈良国道事務所　副所長　横山　健司委員
葛城市区長会　会長　川本　隆三委員
葛城市民生児童委員連合会　会長　奥田　善啓委員

議事
１.開会

２.会長挨拶
・公共交通のあり方を考える上で、社会情勢を反映するウエイトが高くなってきている。特に今の公共交通には、セーフティネットとしてのあり方が必要になってきていると感じる。
・本日はアンケート結果も含め、配布資料はたくさんあるが、大変な課題を審議していただくため、よろしくお願いしたい。

３.報告案件
（１）住民アンケート調査結果について（資料1）
・資料のとおり

【意見】
無し

（２）利用者アンケート調査結果について（資料2）
・資料のとおり

【意見】
無し

４．協議案件
（１）第２期葛城市地域公共交通計画（骨子案）について（資料３、資料４）

・資料のとおり

【意見】
・資料４のＰ２において、一般タクシーは鉄道やバスの補完な役割となっているが、自宅までのラストワンマイルやドアツードアなどの輸送を行っており、公共交通として主たる輸送・任務を担っているため、補完的な役割ではないと考える。次にＰ２３の地域主体の交通とは、どのような交通を指しているのか。最後に、市が主体的に実施している公共交通に対する持続や継続に向けて、それに必要となる予算や費用負担、有料化や運賃値上げ等を記載する必要があると考える。（奈良県タクシー協会　葛城委員）

【回答】
・１つ目の補完という表現については、内部で協議のうえ、修正案を提示する。
・２つ目の地域主体の交通は、地域団体のボランティア輸送を指している。
・３つ目の予算等の記載については、現在、事務局内部にて公共交通の運行形態の見直しなどを検討している最中であり、本日の資料では触れていないが予算等についてもしっかりと考えているところである。

【意見】
・ボランティア輸送については、完全無償で実施なのか、それとも運送の料金を取っているのか。（奈良県タクシー協会　葛城委員）

【回答】
・葛城市内のボランティア輸送は、生活支援との一体型、許可登録不要の輸送として実施している。生活支援に対する料金はいただいているが、運送に対する個別の対価はいただいていない。奈良運輸支局から出ている通達やガイドラインに基づき実施しており、運輸支局にも相談し、確認を取っている。（葛城市社会福祉協議会　高垣委員 代理 田口氏）

５．その他
（１）次回の会議開催日程について
・令和８年１１月２５日（水）午後１時３０分より、葛城市役所新庄庁舎２階２０４会議室で開催を予定している。
・計画骨子案をブラッシュアップし、ＫＰＩの目標値なども追加した計画案を提示する。

・その後、１２月中旬から翌年１月中旬にかけてパブリックコメントを実施する。その後、パブリックコメントの意見を踏まえ、最終の計画案を令和９年２月の協議会で報告する予定である。

以上